

自分が取るべき行動を知る

災害リスク(危険性)判定

避難行動を考える際に、お住まいの地区や勤務先等の「災害リスク(危険性)」を知ることは極めて重要であり、身近な災害リスクを認識することは、ご自身の命、大切な人の命を守る基本中の基本です。また、感染症対策を踏まえ、「3密」の状態を避ける必要があります。避難所に行くことだけが避難ではありません。ご自身が本当に避難所に行く必要があるか、また避難する場合どこに避難するか、以下のフロー図により判定したうえで①～④を記入し、ご自身の「災害リスク」と「避難行動」を把握しましょう。

ハザードマップで自分の家の場所を確認しましょう。ご自宅の場所に色がついていますか？

風水害ハザードマップを確認

はい

いいえ

在宅避難

浸水する危険が低いので、テレビやラジオ等で情報を収集し、自宅で安全を確保してください。

浸水の危険があっても、浸水する深さよりも高い2階などに避難(垂直避難)できるという条件を満たせば、自宅で安全確保することも可能です。

※ただし、想定外の浸水が起こる可能性もあるので油断はできません。

0.5m未満

1

色がついている箇所は浸水の危険があります。浸水深が0.5m以上になると、避難が困難です。ご自宅の浸水深を確認してください。

0.5m以上? 0.5m未満?

0.5m以上

2

大人の膝上となる浸水深0.5mを超えると避難が非常に困難になるため、早めの避難が必要です。

ご自身または一緒に避難する方は、高齢者、乳幼児、妊婦等の要配慮者ですか？

はい

いいえ

警戒レベル3

避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら避難!

警戒レベル4

避難指示が発令されたら避難!

どこに避難する?

市では避難所の3密防止等により感染対策等を進めています。避難所生活が長期化すると「いつもの生活を失う」こととなります。安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人宅への避難(縁故避難)の検討は可能ですか？

はい

いいえ

3

縁故避難

親戚や知人宅への避難を検討してください。

4

施設避難

自治会・集落で開設した一時避難所または、市で開設した指定避難所へ避難してください。

1

自宅の浸水深を記入しましょう。

浸水のリスク あり なし

浸水の深さ _____ m

2

誰と、どのように避難しますか？

どのくらいの時間が掛かりますか？

誰と _____

移動手段 _____

準備 _____ 分 + 移動 _____ 分

合計 _____ 分

3

安全な場所に住み、身を寄せられる方がいたら、記入しましょう。

A _____

B _____

C _____

D _____

4

施設避難の場合の避難先はどこですか？

避難所を記入
